

響流

HIBIKI

高田教区報

高田教区 教化テーマ

私はどこで生きているのか
～たずねよう 真宗の教えに～

2021年11月30日 第153号

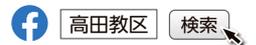


おてらであそぼ べついでん寺子屋
新井別院の巻

雑草という
名の草は
なく

害虫という
名の虫も
いない

上宮 咲希 書
(糸魚川市 小学校五年生)



発行所 真宗大谷派 (東本願寺) 高田教務所
上越市寺町2-24-4 ☎025-524-3913
<http://www.takada-kyoku.jp>

発行 橘 秀憲
印刷 永田印刷株式会社

珠数つなぎ法話

次回 豊島

今回 井上

第4回 比後

第3回 渡邊

第2回 藤島

第1回 金子

第5回 「お内仏」？

第13組 福浄寺 井上一英

リレー方式の珠数つなぎで法話をいただくコーナーです。

コロナ禍のこともあって葬式・法事でお斎によばれることがほとんどなくなったが、料理屋でのお斎がすっかり定着した。これが昔から当たり前というわけではない。かつては家の座敷で行われていた。それがここに来てお斎どころか、葬式も座敷を使わずホールを使う。家族でこじんまりと参列する人も少数に。それがコロナ禍で家族・身内であっても県外であれば顔を見ることがない。昨年、家族三人だけの葬式があった。

また家を建て替えるとお内仏が小さくなる。「大きな仏壇は知らない」「家が小さいのでお内仏を置く場所がない」「仏間(座敷)を作っていない」と言われる。なるほど確かに近頃の家はそんな作りになっていない。

そういえば結構な年齢の人でも「仏壇」と言うようになった。「お内仏」という言葉を最近耳にしなくなった。家の造作の中

に根付いていた仏間(座敷)・お内仏が家の中で居場所がなくなっているようだ。

これは従来、親戚一同が集う公(おおやけ)の場に座敷が必要とされ、そこには当然の存在としてお内仏があった。お内仏・床の間はその家の中心に存在していた。これらすべてが私(わたくし)的な空間には無用の長物になる。親戚も私の記憶に残る範囲の人を集める。余分なものはいらない。その分、家族のためになる方が家族も喜ぶ。何か必要があればその時考えたらいい。親戚も友人も公の時以外にはたくさん集まることはない。この私的思いには「仏壇」の方が声に出しやすいのかもしれない。記憶にないが過去にいた目に見えないものをまとめて、「仏壇」の中にしまい込んでおく。

公(おおやけ)性と私(わたくし)性と課題。これは家という言葉が日本独特な性質を持っているからなのか。オフィシャルとプライベートと言えどこの国にもあることと思うが、それだけのことは思えない。結構今どきの課題を含んでいるように思う。

今回は第6組 西光寺 豊島 信さんです。

今さら聞けない

知りたいこと

⑤

答

問

大谷派の法名は、釈○○、釈尼○○の二文字が一般的で、まれに院号が付く場合がありますね。戒名とちがい簡単(単純)で覚えやすいです。ところで本願寺派は、男女とも釈○○とネットに記載がありました。

大谷派は、女性に対する配慮でしよつか。

一方、『男女平等参画』との関係は、どう何でしよつか。

「真宗の仏事―お内仏のある生活―」(東本願寺出版)七八頁を見ますと、「一般的に法名とは亡くなられたときにつけるように理解されています。しかし、本来は仏の教えに生きるものとしての名のりです。生前にいただくものです。

法名は「釈○○」、「釈」は釈尊の釈で、仏弟子をあらわします。女性の場合は「釈尼○○」と「尼」が入ります。親鸞聖人は法名の「釈」について、

釈というのは、釈尊の御弟子とあらわすことばなり。

と述べておられます。

〔尊号真像銘文〕真宗聖典520頁

なお、「戒名」というのは、定められた戒を受戒した人につけられる名で、真宗では受戒ということはありませんので、使用しません。

とありますが、ここをもう少し掘り下げてお話しして疑問にお答えできればと思います。

法名は、「真宗の教えを中心とした生活をしていく」という自覚が生じたときに帰敬式(おかみそり)を受け、いただくものです。死後いただくということとは、生前何らかの理由で、おかみそりを受ける機会がなく、それを遺族が故人の願いを叶えるべく住職にお願いをしてつけていただくということ。従って、自覚ができた時に受けておくということが大切なことでしょう。

法名は二字(○○の部分)と決まっていますが、戒名は、五戒や十戒など、戒を守ることを誓った(受

戒した)者に与えられる名前です。基本的には「○○信士」「○○信女」と二字で表現されますが、生前の社会における業績、あるいは寺院への貢献度によって字数が変化するのが特徴です。しかし、前述のとおり、浄土真宗には受戒はなく、僧俗の区別や身分、字数による階級の別もありません。すべては「釈」の名のもとに差異なく、共に仏弟子となるとされています。

ちなみに、法名の字数についてですが、釈・釈尼の文字は含めませんので、前述のごとく男性、女性ともに二文字ということになるのですが、含めて考えた場合、男性は三文字、女性は四文字となります。このことについて、不公平ではないのか、あるいは差別につながるのではないのかという意見もあります。本願寺派は、このことを踏まえて男女とも釈を含めた三文字とされています。当派では、定められたものではありませんが、こういう意見があらわした。つまり、『妙』という文字には女性をあらわす意味があるので、「釈妙○」とすれば「尼」はいらない」ということです。現に、福楽寺の過去帳を見ますと、江戸時代後期から明治初期までに「釈妙○」の法名がぞくぞく。それ以降は、「釈尼妙○」「釈尼○○」だけでした。皆さん如何お思いでしょう。

第11組 福楽寺 井上 博



コロナ禍で様々な制限があるなか、感染症対策をとりながら開催されました。スタッフの皆さんの綿密な準備と工夫で、どちらの行事も子どもたちの笑顔が輝きました。お坊さんと楽しく過ごした時間は夏休みのよい思い出になったことでしょう。



夏休みの子どもの行事特集

お坊さんのお話を聞いて、みんなでお勉強してから、広いお寺の中でスタンプラリーをしたり昔遊びをしたりしました。おやつを食べたりお外でシャボン玉をしたりしたのも楽しかったです。またスタンプラリーをしました。

伊藤 美夢 (小五)

べっいん寺子屋で書道をしたりこけ玉を作ったりしました。書道は初めて使う筆ペンで書きました。最初は難しかったけど、最後はうまく書けました。こけ玉は、作っている時、こんな作り方をするんだなと思いました。また寺子屋に行きたいです。

岡田 陽 (小六)



テラスさんに聞きたいことがあったら、手紙やメールを送ってください。待っています。



キャンプで一番印象に残っているのはピザ作りです。外で作って、おいしいピザをみんなで食べられてよかったです。日帰りになってしまったけど、とても楽しかったです。

佐藤 美那 (小五)

キッズ ふくしま

私のキッズふくしまへの思い

第4組 正行寺 芳野 香苗

私は、8年前からキッズふくしまのスタッフをしています。高田教区キャンプで出会った、現在の委員長の子ゲ（繁原立きん）から誘われたことがきっかけでした。

最初は、子どもたちの人数の多さとパワーに驚くばかりでした。私は主に食事作りをお手伝いしていましたが、四回、五回と経験していくうちに、「このままでいいのだろうか」と思うようになりました。食事作りばかりで、福島の子どもたちと触れ合う時間をもていかなかったからです。そこで、ホームステイを引き受けたり、池の平のセンターでは、朝昼夕の食事作り以外の時間は、子どもたちと全力で遊んだりお話ししたりするように心がけました。そうしているうちに「もっと触れ合いたい」という思いが強くなり、その後は子どもたちの送迎にも毎回参加するようになりました。

バスの中では、子どもたちとゆっくり話をするのができ、互いの名前を覚えるようになりました。とても嬉しいことでした。現在は、コロナ禍で中止になってしまったり、人数を制限して開催したりと、これまでのようにできないことにもどかしさを感じています。みんなで調理をしたり、にぎやかに笑い合いながら食事したりできないこともとても残念です。私は、規模を縮小してでも、今後も続けていくことに意義があると思います。

私の三人の娘も成長し、私と一緒にスタッフとして参加してくれるようになりました。これからも娘三人を連れて、スタッフとして活動していきたいと思っています。



そうだ お寺に行こう

真宗大谷派高田教区寺院探訪②

編集長がゆく



関川地区の関川の関所の関住職がまもる寺

北林山 浄善寺



1729年開山。関川の関所は多くの人や荷物が行き交う宿場町であったため地元民の請願運動によって、新寺建立禁止の時代に信濃国須坂勝善寺の弟子・勝徳が現在地に遷座したのが始まり。現住職は第十二世。

編集長記

小林一茶の故郷・北信濃の柏原住民のほとんどが当時真宗の門徒であったそうで、一茶の一族も然り自身も熱心な門徒であり作品にも大きな影響を与えたようです。「御同朋・御同行」であることから一茶社中も俳諧の道とともに歩む者として上下関係がなく、師匠、弟子というものになかったそうです。余談ですが、一茶死後に誕生した娘・やたは、越後高田の農家から婿を取り、子宝にも恵まれたとのこと。今回の取材で小林一茶と真宗、そして上越地方とのつながりを知ることができたことも収穫でありました。

今回掲載した内容はそれぞれさらに説明がなくてはならない興味深いものばかりです。やはり現地に足を運んでお話を聞くのが一番です！関川の関所拝観の際は浄善寺住職の案内と法話は欠かせません。案内を希望されるときは、事前にご一報くださいれば対応いただけるそうです。北林山浄善寺は、関川の関所を行き交う人々の歴史を伝えるお寺でもありました。



加賀藩をはじめとする大名本陣となった大石家の池泉式庭園
 当時北国街道沿いでは屈指の規模、長観山を借景とし、関川の清流を眺めることができる



経石塚

戸隠参詣の老若男女に災いする沼に住む大蛇を鎮めるために親鸞聖人が居多ヶ浜より運んだ浜石に六字名号を記し、沼に沈めたという伝説の経石を納めた塚



昭和13年に切り倒された初代の老松で彫られた親鸞聖人座像（天神社内「袈裟懸けの松のお堂」に安置）



お堂と三代目の松

袈裟懸けの松 天神社境内

親鸞聖人は越後国府流罪中、信濃・戸隠の修道場に度々参籠し、途中の上原宿入口の松に袈裟を掛け休息しておられたことから大切にされてきた。現在三代目が場所を移して植えられている。



天神社の御神木：大スギ
 【国指定天然記念物】

昭和16年11月13日指定

- ・妙高市内現存最古の杉の巨木
- ・樹 高：約30m
- ・目通幹回：約8.2m
- ・推定樹齢：千年超



高田教区 第7組
 住職 関 英隆
 〒949-2112
 新潟県妙高市大字関川339
 tel・fax 0255-86-3359

小林一茶句碑
 第五世住職釋惠天は、小林一茶の門弟で日頃から親交があり一茶が妻子を失った折には、後妻の依頼までされていた。1820（文政3）年に京都本山での住職の階位昇格を祝って、俳句を詠み自ら表装して住職に贈られた（現存）。1996（平成8）年、小林一茶一七〇回忌に句碑建立



小林一茶（本名：小林弥太郎）1763（宝暦13）年－1828（文政10）年（江戸時代末期）享年65歳
 ・「一茶調」と呼ばれる独自の俳風を確立
 ・松尾芭蕉、与謝蕪村と並ぶ江戸時代を代表する俳諧師
 ・一茶の死後も俳句界では名声は落ちず、明治時代中期以降、正岡子規らが注目。その後、自然主義文学の隆盛にもなあって一茶の俳句は大きな注目を集める。

門徒^{ぶっ}仙々^{ぶっ} 言^いいたい放^{はな}題^{だい}

⑤

「絶海の孤島に持っていく一冊の本」の問いに対し、大概の日本人は『歎異抄』と答えるそうだ。親鸞聖人の弟子唯円が、師の言葉を書物に残した仏教書である。

一方、国民的作家吉川英治は「孤島に持って行く本はない」とインタビューに答えた。文豪吉川英治は独り離島でどう過ごすかとの更なる質問に「小説で書いた主人公と語り合って暮らす」と話した。余人を以っては代えがたい類稀なる才能を持つ作家の見事な言葉だ。多くの吉川作品はベストセラーとなる。代表的な作品に『新平家物語』『鳴門秘帳』『三国志』等が浮かぶ。取分け、読者の圧倒的な支持を得た『宮本武蔵』がある。剣豪武蔵が剣一筋で人生の道を究める時代小説

だ。物語は関ヶ原の戦いで西軍として戦った武蔵が、徳川方の残党狩りで命から逃げ延びる場面から始まる。暴れ廻る狂気の武蔵を捕まえ一本杉に吊るす沢庵禅師に心服した武蔵は、姫路城の一隅で己を見つめ、やがて剣の道に進む。京都の兵法家・吉岡一門との闘いから、佐々木小次郎との巖流島の決闘までを描く。青年武蔵の剣術修行を大勢の虚々実々の登場人物を交えて展開する。青年武蔵とお通の純愛は、読む人の心をもどかしくする。武蔵の剣を究める過程で、作者吉川英治の宗教観が霧の晴れるように見えてくる。武蔵は多数の人間を殺したことを悔いる。剣術の達人を目指す武蔵を、剣の奥義を究める求道者として捉えている。『歎異抄』の有名な「善人なをもて往生す、いわんや悪人をや」、の言葉は、親鸞思想の最大のパラドックスといえる。「悪人こそ救われる」絶対他力の信仰を、作者は武蔵の生き様を通して書き上げる。吉川作品『親鸞』は、まさに親鸞ファンであることを披歴してい

る。されど、親鸞を慕う吉川英治は、敢えて教団に対し、辛口の警句を残した。「法然出でよ、蓮如、今日に生まれよ。なんて、そんな大それたことを、今日の教団に向かって、私はねがわない。到底、失望しているからである」。文豪の親鸞への格別な想いが、まるで驟雨^{しゅうう}のように教団への痛烈な言葉となって降り注ぐ。コロナ禍では、ひとり無人島で暮らす術が唯一の防衛と、極論が飛び出す。週刊誌の鬼という綽名で知られた扇谷正造は吉川英治から「顔施^{げんせ}」を教わったと著書でいう。何事も心がけ次第で、自分も周りも幸せになれる、との教えは『歎異抄』の絶対幸福に繋がる。行雲流水の境地を以って、天衣無縫に門徒仙々言^いいたい放^{はな}題^{だい}を捲し立てる。

酒呑童子^{しゅんどう}



愚僧のつぶやき

〈真宗の葬儀編⑬〉

ご本尊の有無が決まると、次に野卓のじよくと呼ばれる筆返しのない白木の台を設置します。そして、その野卓に赤地以外の水引や打敷を荘厳し、白木の建水板けんすいばんで押さえます。

次に野卓の上に三具足を荘厳しますが、特に注目して頂きたいのが、「紙花ししか」です。花瓶には生花を用いず、金銀の厚紙を段切りとし、竹に巻いた紙花を一瓶に四本挿します。挿し方は前後に金、左右に銀です。

この紙花とは、お釈迦様がお亡くなりになった時、東西南北に二本ずつ計八本の沙羅樹があり、各一本が枯れ、一本が栄えたという故事を由来としています。これを、四枯四栄しこしえいと呼び、紙花で表して

いる訳です。そこには、死は悲しみであると同時に、仏と成ったという喜びでもある事が意味されています。三重県には、現在でもお葬式の時に赤飯を炊いて振る舞う習慣があるそうです。ただ、そこに

トウガラシ汁が添えられるといひます。涙が出る程、悲しくてつらいと。私はそこに、浄土真宗を感じるんです。阿弥陀様のお用はたらきにより、人生を全うしたら仏様と成らせて頂くとお聞かせ頂き、幼い我が子が亡くなくても、喜んでゆける様な人には、浄土真宗のお救いは必要ないのかもしれない。とはいえ、いつまでも泣いてばかりでは、み教えに出遇ったことにならないんだらうと思ひます。そのどうしようもない悲しみを抱える我々に阿弥陀様は南無阿弥陀仏となつて、『つらからうなあ、悲しかろうなあ、我がおるぞ、必ず救うぞ』と呼びかけ続け、抱き続けて下さっています。この阿弥陀様

のお呼び声を伝え続けて下さっている亡き人を、先人の方々は仏様と拝んできた事であります。

つまり金銀の紙花とは、悲しみをご縁として、どうか阿弥陀様と出遇い、亡き人（諸仏）と出遇つてほしいという先人の願ひが込められたお荘厳であります。

現在、仏教各派では銀の紙花ばかりで、金銀の紙花を荘厳している所は、ほとんどありません。その理由として、「葬儀に金の紙花はふさわしくない」というものがあります。近年、大谷派に於いても、銀ばかりの紙花の方が良いのではないかという声が聞かれる様になつてきました。でも、先人の方々が大切に伝承して下さった四枯四栄のお心を忘れない為にも、金銀の紙花を伝え残してゆきたいと思ひます。

合掌 称六字

ペンネーム 維摩教信



第1組 光照寺 梅澤 謙吾
 新型コロナウイルスの感染状況が改善、世の中もだいぶ活気が出てきました。それ自体はいいことです。ところで、「不要不急」はどうなったんでしょうか。私達の生活を大きく変えてしまったあの言葉を、もう誰も言わなくなりました。ちよつと腹が立ちます。

第2組 常圓寺 鈴井 祐恭
 第2組では、去る10月17日に第1組円照寺ご住職藤島直氏を講師にお招きして靖国問題研修を開催しました。当日は、靖国問題を起点に様々な社会問題に触れながら親鸞聖人の教えを通して真宗門徒としての自身の問題を振り返るお話で、質疑応答は活発な座談に展開するなど大変有意義な研修となりました。

第3組 正光寺 高橋 良暁
 今年も高田別院報恩講が厳修されました。前日に打敷掛けや、かざり灯芯作り、須弥盛華束作りなどの莊厳をし、当日までに、仏具のお磨きや立華、境内館内準備などが行われました。多くの方々の思い、協力により報恩講が成り立っていることを莊嚴をしながら感じました。

第4組 養性寺 内山 真明
 4組は10月29日にお待ち受けを行います。(原稿執筆時は23日)人数の制限をつけてのお待ち受けとなります。制限なく「どなたでも」の状況が待ち遠しいと御門徒さんからの声をいただきました。
 又、4組社会問題委員からはリーフレット第二弾が作成されております。社会問題の組内教化が円滑に進むように努めたいと担当者が話していました。

第5組 聴信寺 居多 啓
 先だって自坊の報恩講が厳修されました。
 不要不急が叫ばれる中、それでもお寺に足を運んでくださる御門徒の皆さん。自分はその思いに何か応えられているのだろうか。皆さんの明るいお顔を見ていると、報恩について考えさせられます。

第6組 福成寺 鎮西 広円
 10月4日に第6組、春日ブロックで宗祖親鸞聖人講座が開講されました。「夢告」を通して、すべての人が、ともに助けあって生きる道とは何かを講義のテーマとして考えていきました。現在のコロナ禍という問題も重ねながら座談を行うことが出来ました。

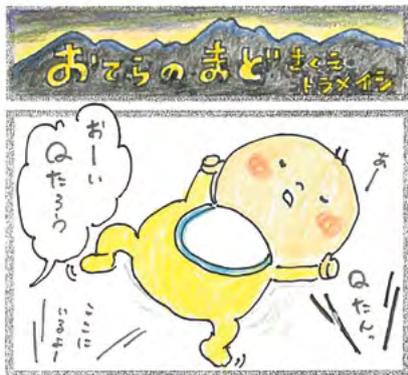
第7組 願生寺 平出 文勇
 去る10月14日(木)新井別院にて『南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう』をテーマに「第13回同朋大会」ならびに「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年 お待ち受け研修」が合わせて開催されました。慶讃事業として僧侶と門徒の「共同教化」を目的として、特別研修生(僧侶)3人からの発表、そして第13回推進員養成講座の講師でもおられた水嶋聡氏の法話などスタッフを含め50名からの中、肅々と行われました。

第8組 明岸寺 法隆 光昭
 圓性寺御住職・林康一朗氏の御命日法話を聴聞ス。
 氏の身上話に、「業が深い」「ご催促」という門徒言葉を思う。業報は容赦ないが、それが弥陀のご回向、施しであったと。
 私共の姿が、成る様に成った姿に観ぜられた。老病貧辱、理不尽もご回向とは。赤ん坊の安眠に、ほっこり。尊い事でした。

第11組 光圓寺 竹内 淳一
 とある経には、もとより凡夫には観及ぶこと無し、と。かの仏国土の諸相への肉迫について、予て示されます。我々に浄土論は可能か? という問いでもございませう。
 可能です。底下凡愚悪人し、願心受領という往生成就がある以上、幸ある世界、好き世界の様相への往還が、約束されていく。願心とその開く世界に領けた信心獲得に、浄土が開かれてある。教団も行者も、願心とかの仏国土が中心となった、往還の主体です。同時に、間に合わん底下凡愚悪人のまま。生まれ後こそ更に窮むべし、と。

第12組 善立寺 山越 英隆
 10月2日、秋の晴れ間、報尽碑清掃法要が行われました。たくさんの方にご参加頂き碑と周辺、そして長い参道も見違えるようにきれいにして頂きました。
 10月21日、12組のお待受け研修会が行われ、お二人の方にご法話を頂き、それぞれ感慨深く聞かせて頂きました。深まる季節のように、私たちの胸にも信心が深まることを願ってやまない研修会でした。

第13組 福浄寺 井上 立英
 自坊の報恩講を今年も昨年に続き新型コロナウイルス蔓延防止のため内勤めで執り行いました。
 今後、参詣の皆様と御勤めをしたら、共に御齋を頂く様な以前の姿に戻れるのか、もしくは新しい報恩講の有様を考えていかなければならぬのかと、日々思索しております。



教区ホームページ連動企画『響流』～WEB版～

ネットDE仏教



大手インターネット検索サービスであるGoogle（グーグル）では、無料で利用できる様々なアプリケーションが提供されています。今回は、その中のいくつかの機能についてご紹介します。

今回の記事

第5回 Google活用術！

〈高田教区ホームページアドレス ⇒ <http://takada-kyoku.jp>〉



さあ ひごろのうっ憤を
川柳を作り
晴らしてみても
いかがでしょうか。

めざめたら コロナおさまる
暖冬を
【東山 征子】

脱炭素 知らなかったぞ
化石とは
【アンモナイト化石】

不名誉な 化石賞に
凍りつく
【パリ協定後進国民】

ネットこえ スマッシュ一発
コロナ菌

【お詫びと訂正】

前号（152号）掲載の「珠数つなぎ法話」文中に誤植がございました。寄稿者並びに読者の皆さまにお詫び申し上げます。誤植部分は以下のとおりです。

箇所	誤	正
下段7行目	「皇上を奉戴し政令を～」	「 皇上を奉戴し政令を～」
下段11行目	「双論双翼論」	「双輪双翼論」

こもれび

「コロナ禍」という言葉が使われて1年半以上が過ぎた。私たちはもはやその言葉に慣れ、日常となった。「新しい生活様式」という言葉も生まれた。それによって人びとの生活に対する意識が変わった。

この新しい生活様式という指針のもと、各家庭で執り行う仏事は随分と様変わりした。ご法事はごく身内だけで執り行い、お斎は省略、あるいはお弁当形式が主流となった。また、お通夜やご葬儀も、一般参加者は儀式の前に弔問するような形となり、儀式に参加できる人が制限される。「仏事の回復」が願われている昨今、回復どころか衰退の要因になり得ているようである。

新しいものを取り入れるということは、古いものを切り捨てるということである。コロナ禍を理由に切り捨ててしまったものでも、改めてその意味を考え、必要なものは必要なものとして残しておくべきものはきっちり残していかなければならない。

コロナ禍が終息したあとでも、この新たな仏事の形式が継続されていくことの懸念がある。ものごとは一度形を変えると、なかなか元には戻らない傾向があるからだ。そのような意味でも、今後「仏事の回復」が問われることになるのではないだろうか。（上宮）

真宗大谷派 高田教区

宗祖親鸞聖人
御誕生八百五十年・立教開宗八百年
慶讃法要

お待ち受け大会



受式者受付中！※1
(定数までわずか)

インターネット
ライブ配信予定！※2

帰敬式
13:00～14:00

とき
2022年4月16日(土)

記念講演
15:30～17:00

ところ
高田別院 ※3



儀式執行：大谷暢裕門首
(真宗大谷派第26代門首)



講師：楠 信生氏
(教学研究所長)

高田教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業推進委員会

宗祖親鸞聖人

御誕生
立教開宗

50th
800th

—〈慶讃テーマ〉—

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

真宗大谷派 (東本願寺)

※1 帰敬式受式の申込みにつきましては、お手次ぎのお寺までご連絡下さい。

※2 インターネットライブ配信の詳細につきましては、高田教区ホームページ、Facebook等の情報をお待ちください。

※3 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場への参拝人数を制限させていただきます。